

事業名	農村青少年組織育成事業費		
細事業名	農業青年実践能力向上研修費	財務コード	064503
担当部課室	農政 部 農業技術 課 普及教育・資金 担当 (内線)	5355	

調書番号	96
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S52 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>新規就農者等の技術・経験の浅い農業者</td> <td>技術や経営の専門研修会、学習会を通じて、幅広い農業生産技術を習得させ、資質の向上を図ることができる</td> <td>地域農業の中核的担い手として育成</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	新規就農者等の技術・経験の浅い農業者	技術や経営の専門研修会、学習会を通じて、幅広い農業生産技術を習得させ、資質の向上を図ることができる	地域農業の中核的担い手として育成
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
新規就農者等の技術・経験の浅い農業者	技術や経営の専門研修会、学習会を通じて、幅広い農業生産技術を習得させ、資質の向上を図ることができる	地域農業の中核的担い手として育成					
内容	○事業内容(各農務事務所ごとに実施) ①新規就農者等の栽培作物部門別に行う専門研修 ②先進農家視察研修の開催 ③技術や経営情報の意見交換会の開催						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	研修・意見交換の延べ開催回数	目標	32	32	32	32	32	32
		実績(見込)	21	31	30	28	31	32
		達成率	65.6%	96.9%	93.8%	87.5%	96.9%	100.0%
		達成区分	c	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		56	78	79	79	79	80	80

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標	b		予定していた回数を概ね開催することができ、新規就農者等に対して、基本技術や経営管理等について指導することができた。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	本事業の検討の結果、新規就農者等の技術・経営能力の向上が図られており、この成果を今後も継続していく。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 新規就農者等の対象者が抱える就農時点で抱える課題に応えおり、効果的に研修会を開催できている )
その他	説明	
見直しの必要性	無	新規就農者数は近年300人を超える状況であり、これら対象者への技術や経営の修得について引き続きサポートする必要がある。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。